

みずほCustomer Desk Report 2023/09/20号(As of 2023/09/19)

金融市場部 為替営業第二チーム

【昨日の市況概要】				公示仲値	147.73
	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	GBP/USD	AUD/USD
TKY 9:00AM	147.62	1.0693	157.83	1.2384	0.6440
SYD-NY High	147.92	1.0718	158.28	1.2425	0.6473
SYD-NY Low	147.51	1.0676	157.78	1.2372	0.6429
NY 5:00 PM	147.87	1.0679	157.93	1.2392	0.6455
	終値	(前日比)		終値	(前日比)
NY DOW	34,517.73	▲ 106.57	日本2年債	0.0300%	0.0000%
NASDAQ	13,678.19	▲ 32.05	日本10年債	0.7200%	0.0200%
S&P	4,443.95	▲ 9.58	米国2年債	5.0912%	0.0363%
日経平均	33,242.59	▲ 290.50	米国5年債	4.5125%	0.0643%
TOPIX	2,430.30	1.92	米国10年債	4.3637%	0.0621%
シカゴ日経先物	33,100.00	▲ 5.00	独10年債	2.7400%	0.0245%
ロンドンFT	7,660.20	7.26	英10年債	4.3395%	▲0.0455%
DAX	15,664.48	▲ 62.64	豪10年債	4.1790%	▲0.0320%
ハンセン指数	17,997.17	66.62	USDJPY 1M Vol	8.72%	▲0.34%
上海総合	3,124.96	▲ 0.98	USDJPY 3M Vol	9.38%	0.12%
NY金	1,953.70	0.30	USDJPY 6M Vol	9.24%	▲0.10%
WTI	90.48	▲ 0.10	USDJPY 1M 25RR	▲0.91%	Yen Call Over
CRB指数	290.00	0.62	EURJPY 3M Vol	9.09%	0.01%
ドルインデックス	105.13	▲ 0.07	EURJPY 6M Vol	9.30%	▲0.13%

東京	東京時間のドル円は147.62レベルでオープン。前日に米金利が低下したことを受けて、オープン直後に147.51まで下落。その後は、週後半の重要イベントを前に持ち高を積極的に傾ける動きは限られたが、米長期金利が持ち直す流れを受けて、じりじりと円安方向に推移。結局、147.83レベルで海外へ渡った。
ロンドン	ロンドン市場のドル円は、147.83レベルでオープン。今週の主要中銀イベントを控えドル円は方向感のない推移。ブレント原油が昨年末の水準まで上昇し、インフレ加速懸念が高まる中、欧州株はまちまちな推移。結局147.68レベルでNYに渡った。
ニューヨーク	海外市場のドル円は147円台後半でスタート。米金利上昇に伴い、147.90まで買われるも、年初来高値の147.95手前で失速。その後小幅反落し、147.60近辺での推移が続き、147.68レベルでNYオープン。朝方に発表された米8月建設許可件数は予想を上回るも、米8月住宅着工件数は予想を下回り、強弱まちまちな結果となる。しかし、同時に発表された加8月CPI(前年比)が予想以上の伸びを記録した事を受け、インフレ再加速の懸念が波及し、米金利も連れて上昇する動きに、ドル円も147.84まで上昇。しかし買いは長く続かず、147.64まで値を下げる。その後、米金利が再度上昇する動きを背景に、147.80まで反発。午後は米長期金利が2007年以来の高水準で推移する展開を受け、ドル円も高値圏の147.92まで続伸。その後は注目の9月FOMCの結果発表を翌日に控え、147.87レベルでクローズ。一方、海外市場のユーロドルは1.06台後半でスタート。じり安での推移が続き、1.0676まで下落。その後、特段手がかり材料は見当たらなかったが、ユーロの買戻しが強まり、1.0709レベルでNYオープン。オープン直後は1.0718まで上げ幅を拡大するも、その独金利が低下する動きが重しとなり、1.0677まで反落する。午後は1.0680付近で揉み合いとなり、1.0679レベルでクローズ。

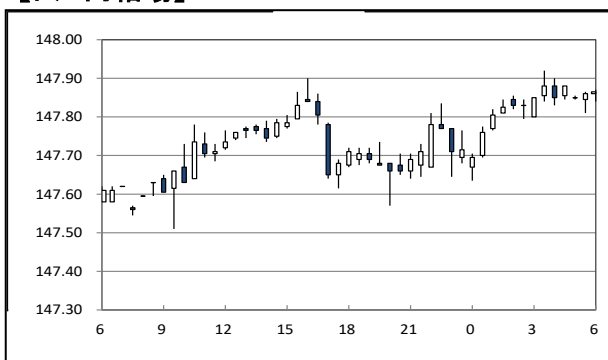
【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
9月19日	18:00	欧 CPI(前月比/前年比)・確報	8月 0.5%/5.2%	0.6%/5.3%
	21:30	米 住宅着工件数	8月 1283k	1439k
	21:30	米 建設許可件数	8月 1543k	1440k
	21:30	米 住宅着工件数(前月比)	8月 -11.3%	-0.9%
	21:30	加 CPI(前年比)	8月 4.0%	3.8%
	21:30	米 住宅建設許可(前月比)	8月 6.9%	-0.2%

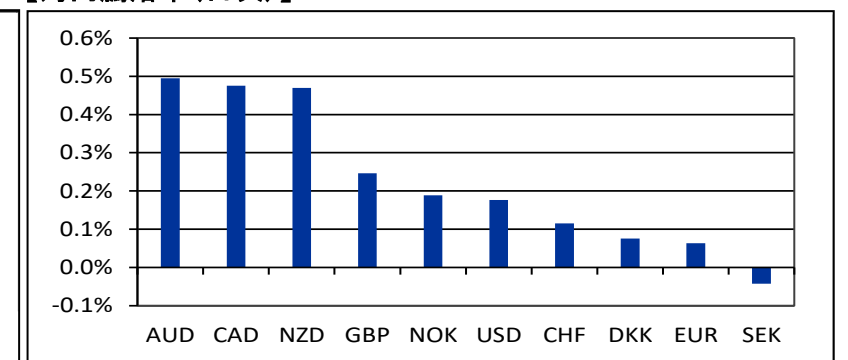
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
9月20日	08:50	日 貿易収支	8月 -¥678.5b	-¥66.3b
	15:00	英 CPI(前月比/前年比)	8月 0.7%/7%	-0.4%/6.8%
	15:00	英 CPIコア(前年比)	8月 6.8%	6.9%
9月21日	03:00	米 FOMC政策金利(上限)	20-Sep 5.50%	5.50%
	03:00	米 FOMC政策金利(下限)	20-Sep 5.25%	5.25%
	03:30	米 パウエルFRB議長 記者会見	-	-

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	147.40-148.50	1.06200-1.0750	156.70-159.00

【マーケットインプレッション】

昨日のドル円は147円台後半で小幅推移。東京時間序盤に売りが先行し、早々に147.51の日通し安値をつけるも、その後米長期金利の低下が一服し、ドル買いが優勢となり147円後半に持ち直し。海外時間では重要指標発表もなく、動意を欠く展開となった。本日は明日早朝のFOMC結果発表およびパウエル議長会見を控えて様子見一色。現状では、政策金利を据え置く見方が大勢であるが、原油上昇もありインフレ懸念は払拭できておらず、追加利上げや据え置き期間長期化を示唆するなど、タカ派スタンス維持となればドル高に触れる可能性は高い。ただし、今週末には日銀の金融政策決定会合を控えていることに加え、為替介入の警戒感からも、上値は限られると予想する。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償でのみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まれない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。

担当:上遠野・逸見